

あら、どうしたの たっくん 急に甘えだして。

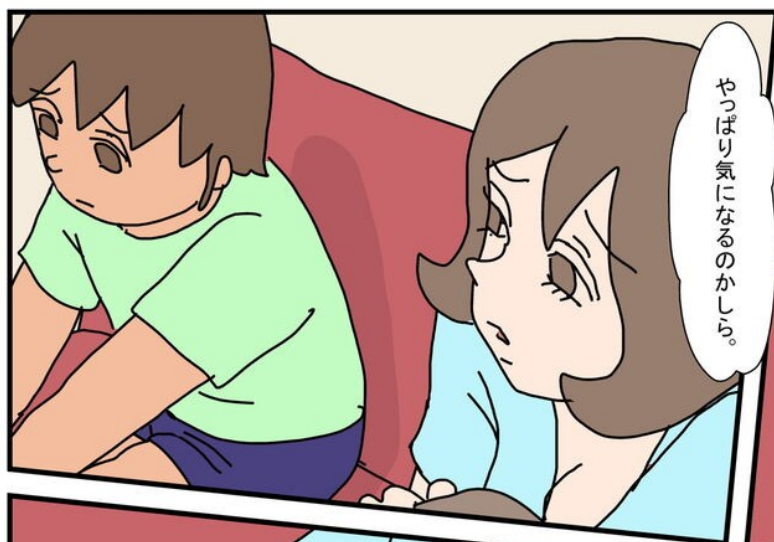
もう、たっくんたら。

ぎゅう
ぎゅう

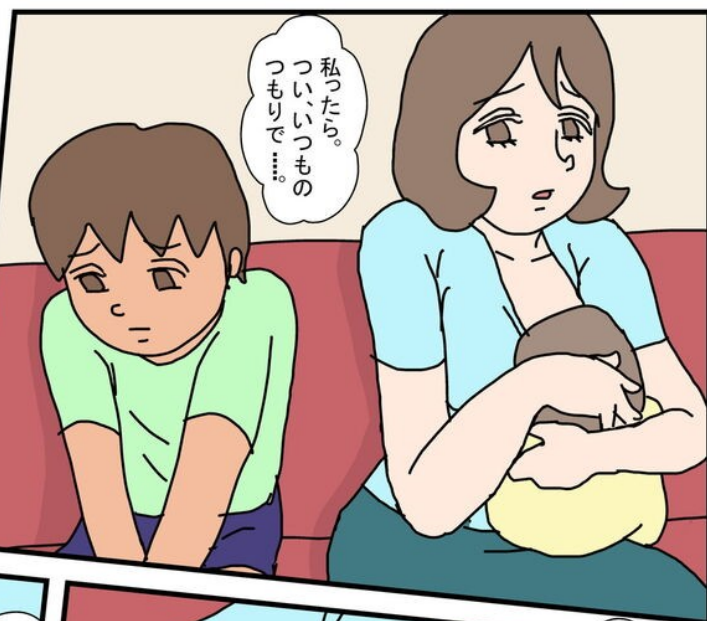








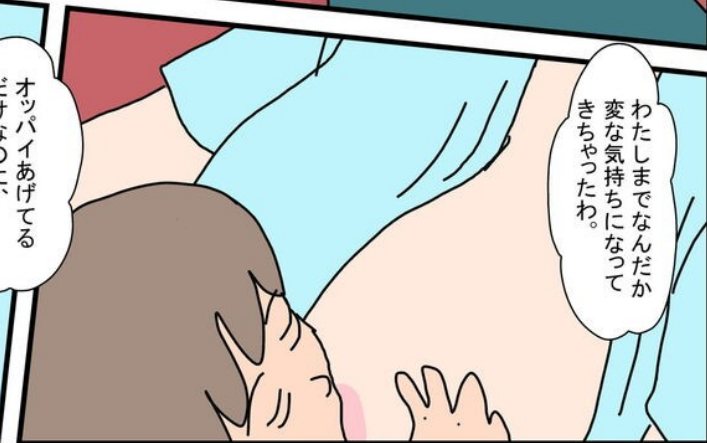
やっぱり気になるのかしら。



私ったら。
つい、いつもの
つもりで...!



感じてきちゃった。



わたしまでなんだか
変な気持ちになって
きちゃったわ。

オッパイあげてる
だけなのに、



マコト君も飲んでみる？



何か話さなきゃ。

気まずい雰囲気。



そうですね。



冗談よ、冗談。

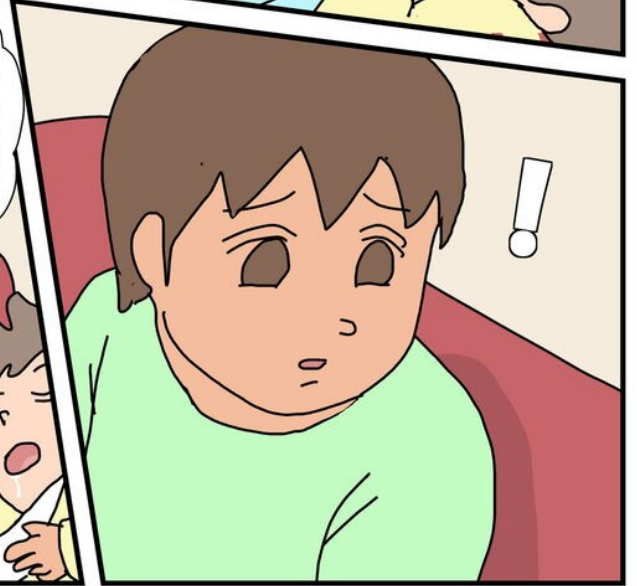
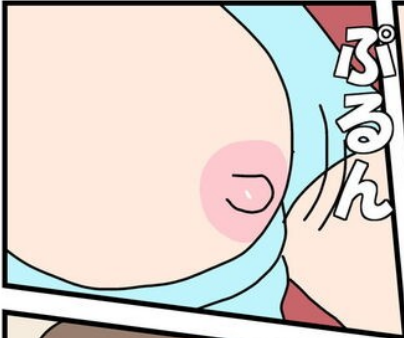


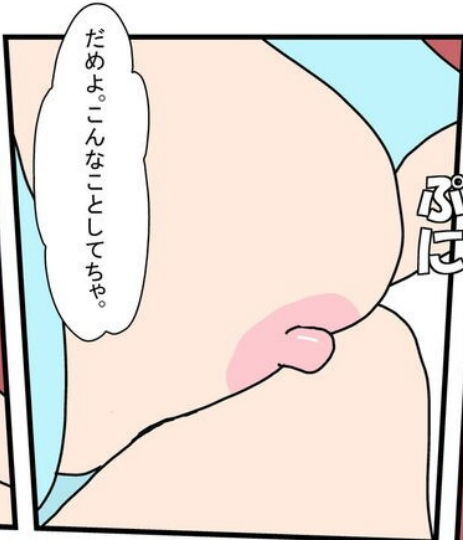
えっ、

何言ってるのかしら、私。



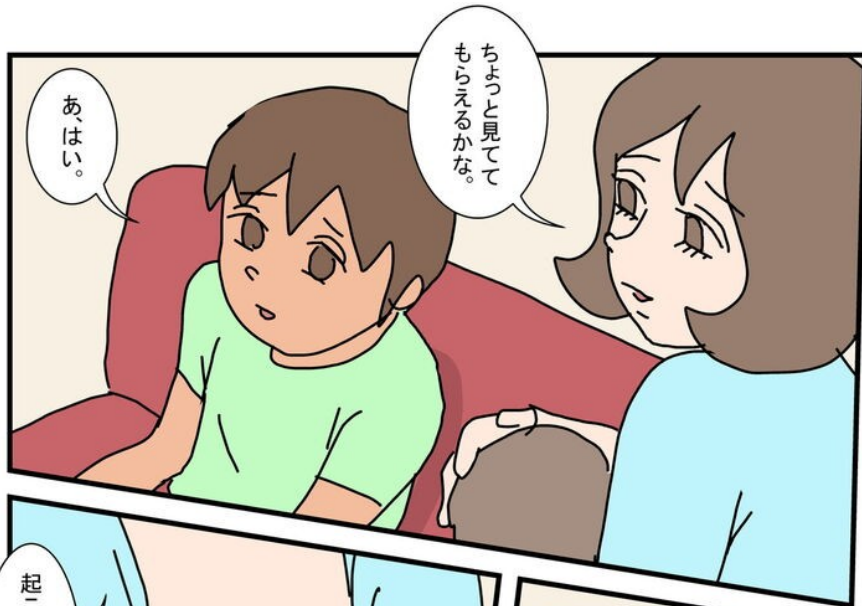


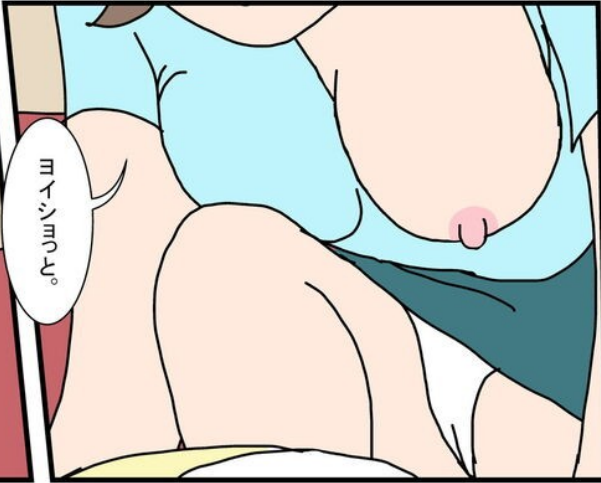










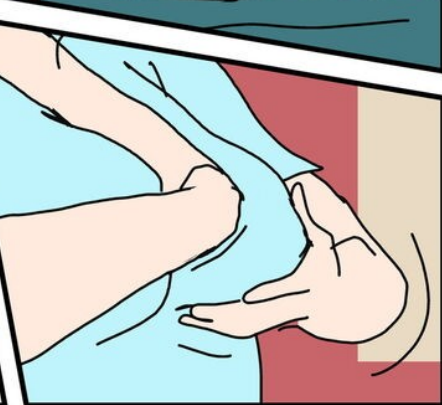


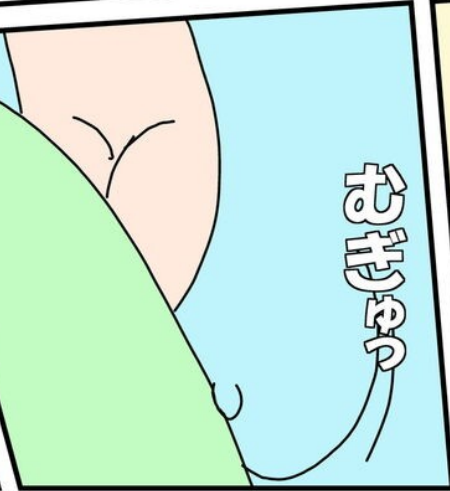


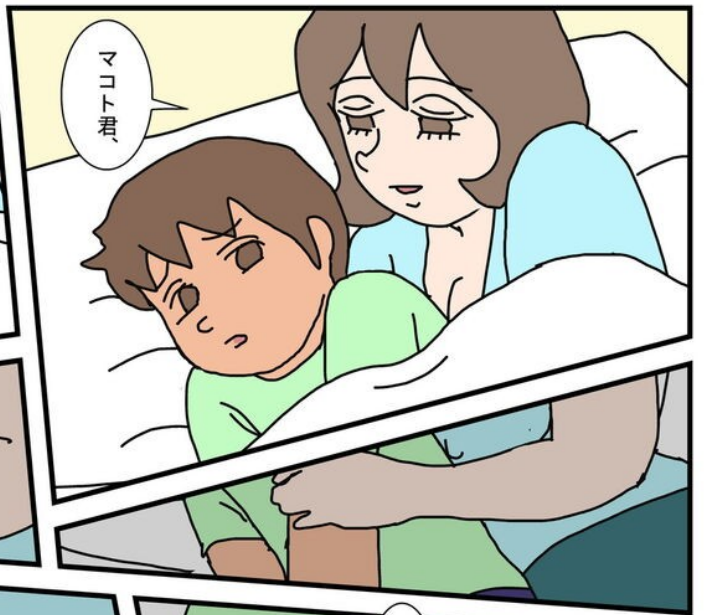
サトシが帰ってくるまで
マコト君も一緒にお昼寝すれば。

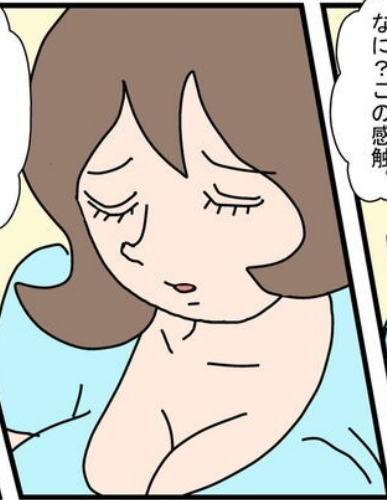


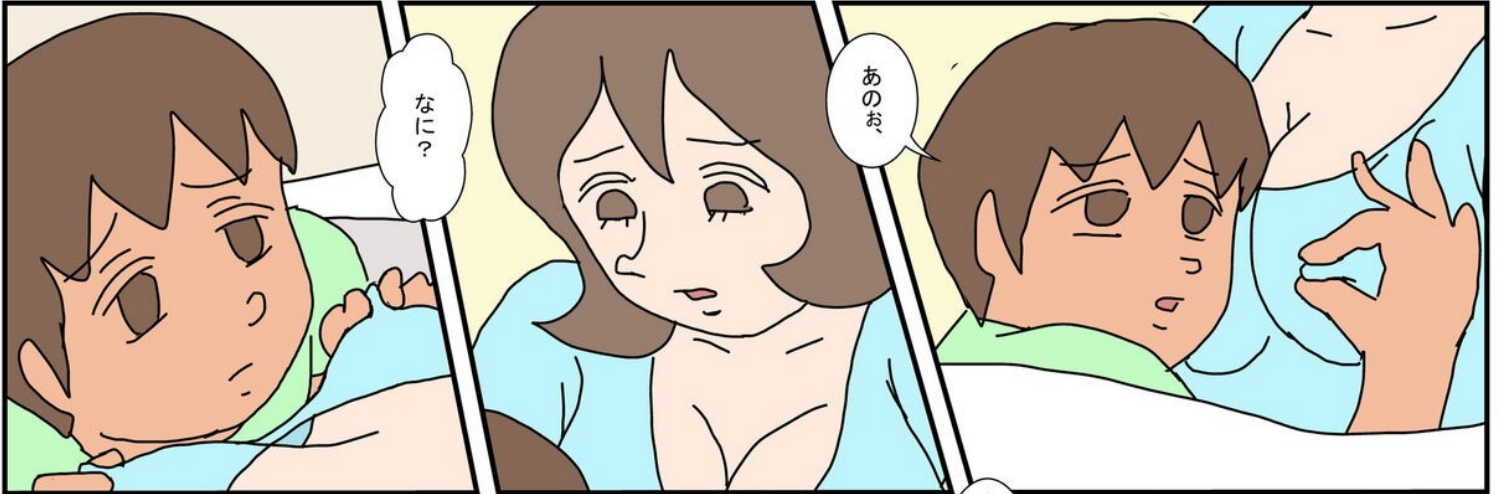
さあ、行くわよ。



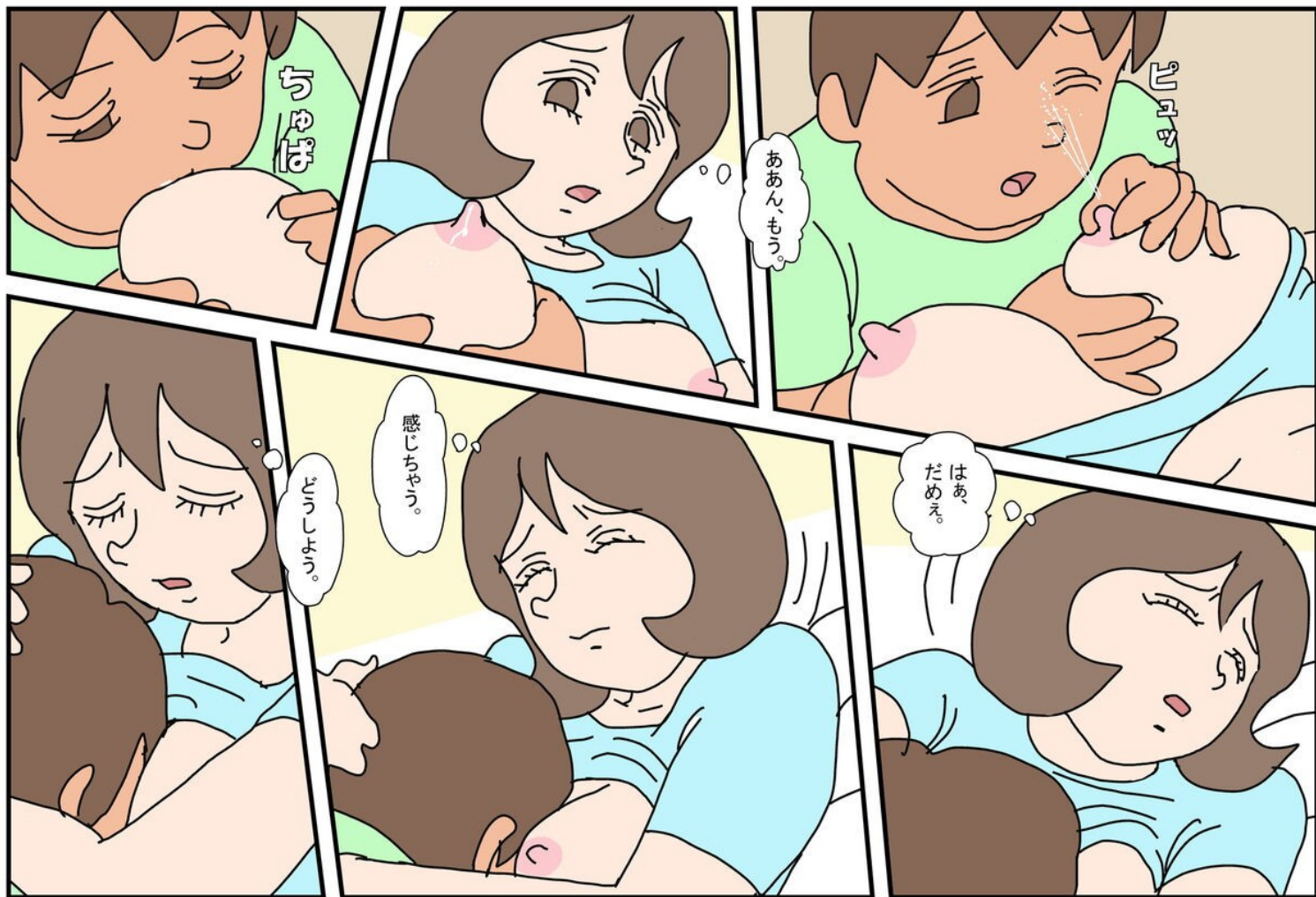


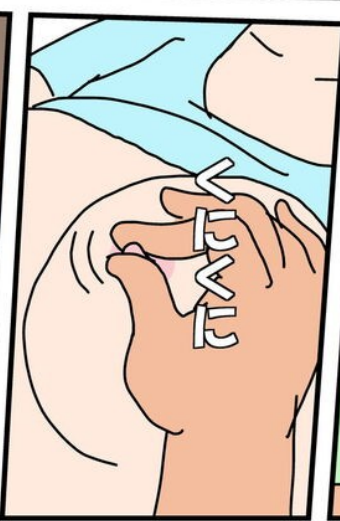


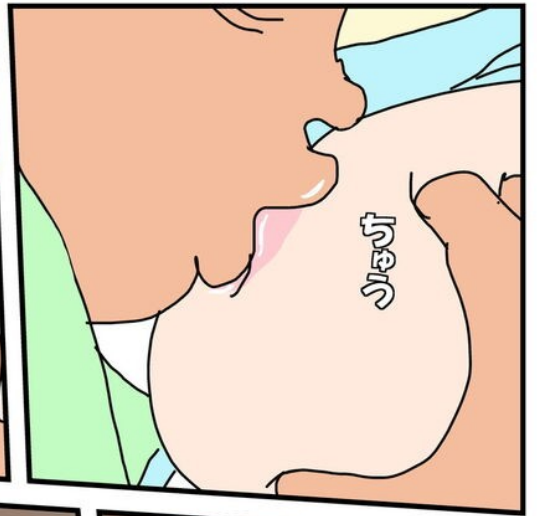
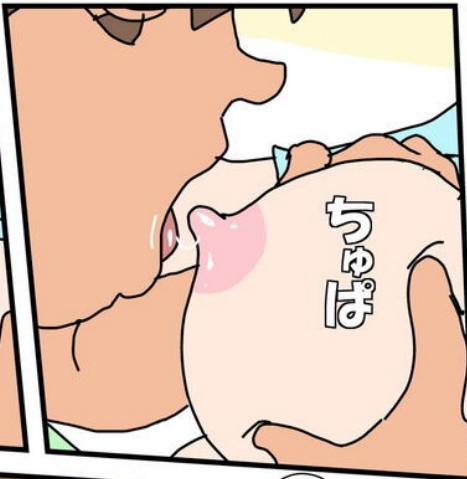


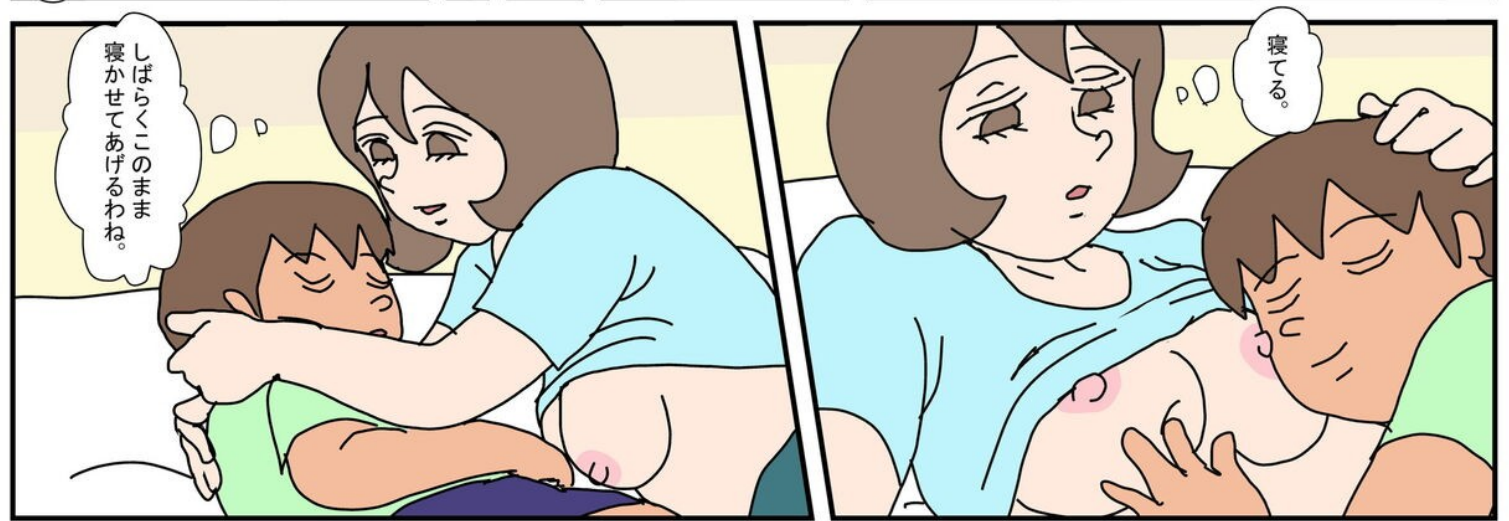
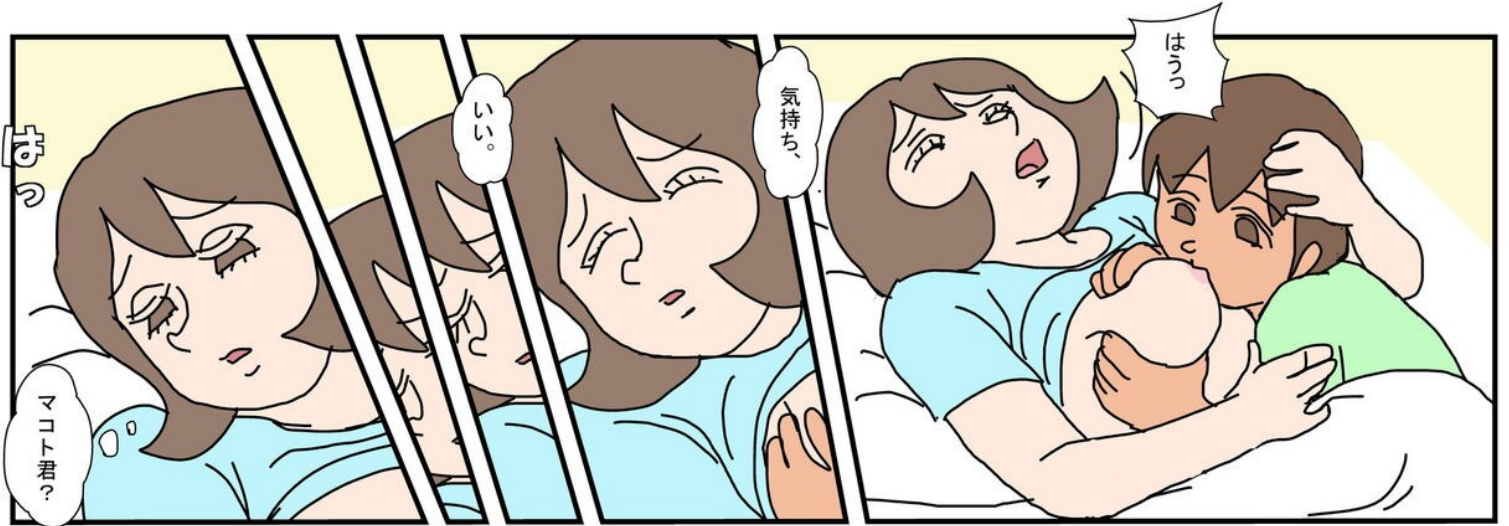






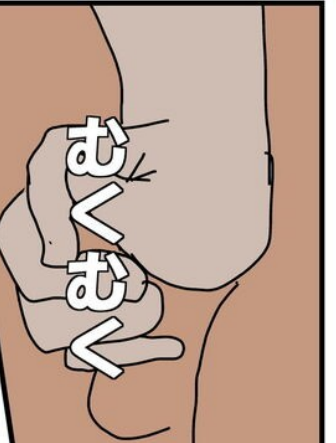
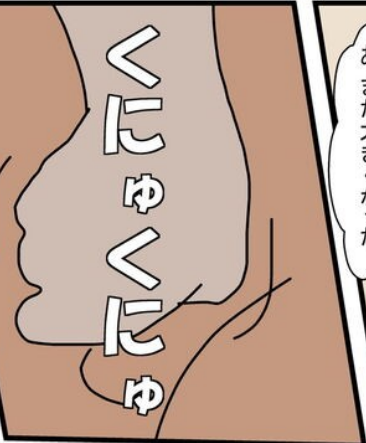




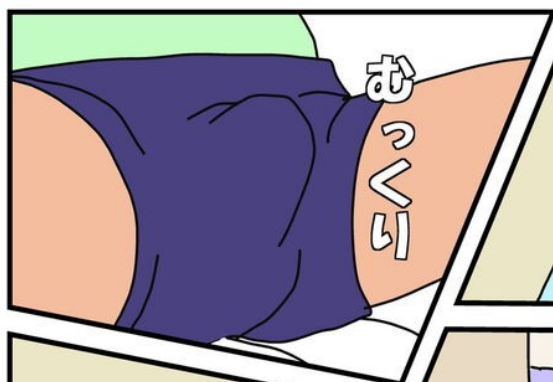




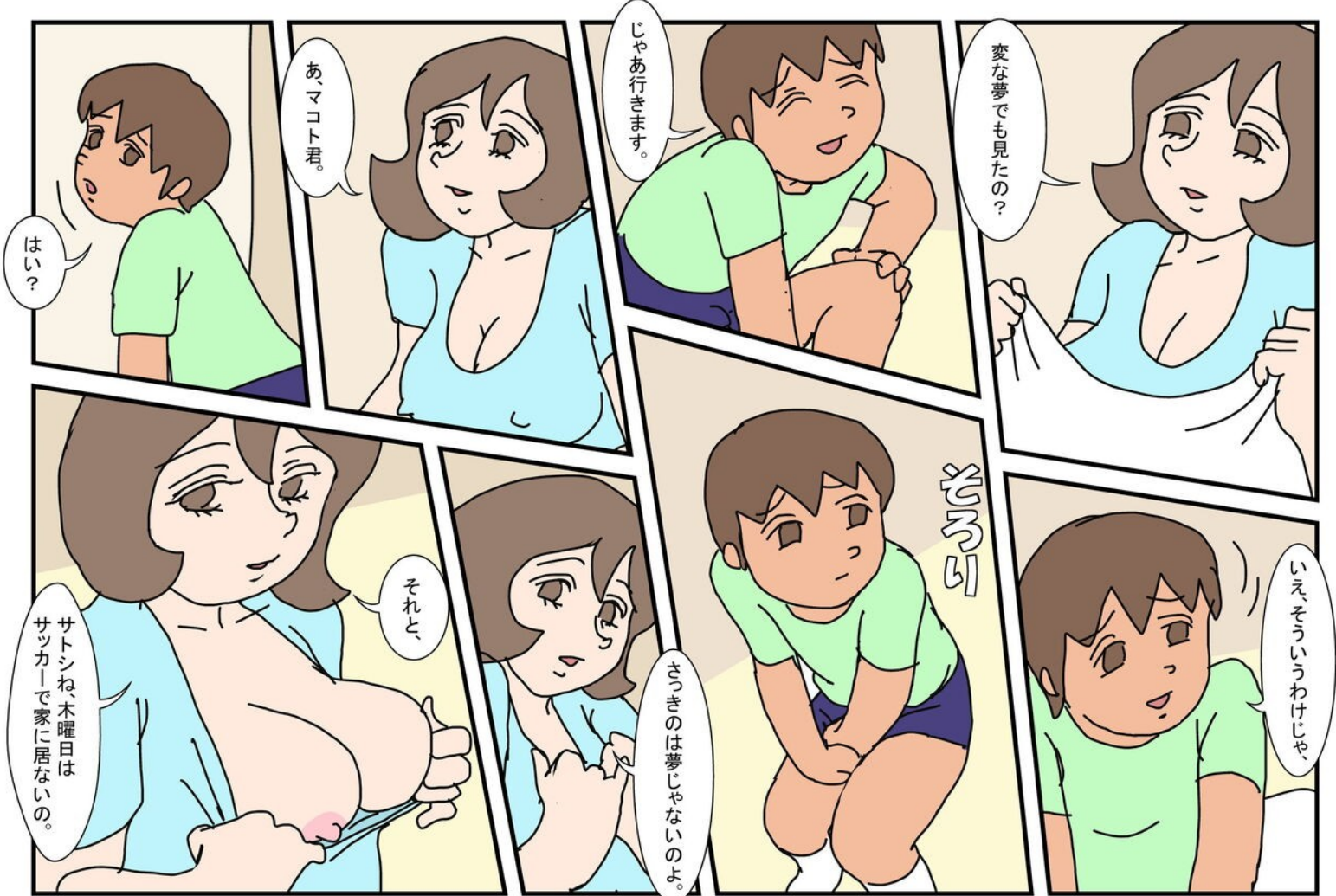












あ、マコト君。

はい？

じゃあ行きます。

変な夢でも見たの？

サトシね、木曜日は
サッカーで家に居ないの。

それと、

さっきのは夢じゃないのよ。

ごめん

いえ、そういうわけじゃ、

つづく